

# うめきた先行開発区域の中核施設 知的創造拠点 ナレッジキャピタル

2013年春にまちびらきするうめきた先行開発区域「グランフロント大阪」、そしてその中核施設であるナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する知的創造拠点として、多方面からの期待が寄せられている。また、「うめきた」を含む大阪駅周辺地区は、2011年12月、国から「関西イノベーション国際戦略総合特区」の拠点の一つに指定されており、ナレッジキャピタルの重要性はさらに増している。

## ナレッジキャピタルとは

都心に残された最後の一等地である大阪駅北地区「うめきた」。2013年春、先行開発区域「グランフロント大阪」がまちびらきを迎え、その中核施設としてナレッジキャピタルが誕生する(図1)。

2004年7月に大阪市が策定した「大阪駅北地区まちづくり基本計画」の中で、まちづくりの5本柱の一つとして、新しい産業・技術、文化・価値を生み出し、関西から世界へ発信する「知的創造活動の拠点(ナレッジ・キャピタル)づくり」が示された。以降、産学官の連携による「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創出する公共的観点を持った複合施設として、その開設に向けた準備が着々と進められている。

## 〈図1 うめきたの全景〉



## 施設構成

ナレッジキャピタルは、新たなイノベーションを創出するために必要な機能と施設を備えている(図2)。主な施設は次のとおり。

### ■The Lab.みんなで世界一研究所 (仮称)



The Lab.(イメージ)

子どもから大人まで、驚きの先端技術を見て、触れて、体験して、語り合うことができる楽しい交流施設。参加する企業、研究機関、大学、クリエイターと一般の来場者が展示

やワークショップなどを通じて交流し、世界一や世界初の技術、プロダクト、サービス、コンテンツの創出をめざす。

### ■ナレッジサロン



ナレッジサロン(イメージ)

企業人、研究者、クリエイターなど分野を越えた多様な人びとの出会いと交流のための会員制サロン。快適な空間を提供するだけでなく、専属のサロンコーディネーターを置き、プロジェクトの立ち上げ・推進やニーズに応じた企業・人材の紹介などのサポートを行う。

※現在、ナレッジサロン会員の先行予約登録受付中。

### ■ナレッジシアター

舞台公演からビジネスユースにまで対応可能な多目的劇場。演劇をはじめとするエンターテインメントや新製品発表会、ビジネスセミナーなど、今後の関西の芸術文化とビジネスの発信・発展に貢献する。

### ■コンベンションセンター

都心に立地する本格的なコンベンション施設として、大ホールと会議室を備える。国際会議から見本市・イベントまで多様なニーズに対応。

## ■フューチャーライフショールーム



フューチャーライフショールーム(イメージ)

近未来を提案する企業とユーザーの新しいコミュニケーション空間。買うだけの店舗、見るだけのショールームではなく、買う、見る、参加する、学ぶなど、多彩な機能で来街者をワクワクさせる新しい価値を提案する。

## ■ナレッジオフィス・コラボオフィス・カンファレンスルーム

イノベーション創出のための事務所スペース「ナレッジオフィス」、短期間・小規模で賃貸可能な「コラボオフィス」、各種会議に対応する貸会議室「カンファレンスルーム」など、豊富なオフィス機能を配置。企業・研究機関・大学などの拠点と高度人

材の集積をめざす。

## 関西経済の発展に向けて

昨年末、「うめきた」を含む大阪駅周辺地区、けいはんな学研都市、神戸医療産業都市など9地区が、国から「関西イノベーション国際戦略総合特区」の拠点に指定された。

特区事業の成否は、これからの関西経済を大きく左右するものであり、なかでも「うめきた」は、扇の要として、中核的な役割を担う重要拠点である。そこでこういった動きなどを受け、大阪市がナレッジキャピタルで計画する大阪オープン・イノベーション・ヴィレッジ(仮称)については、「世界からヒト・カネ・情報を引き込むグローバルビジネス創出拠点の形成」をコンセプトに、特区の特例措置を活用して内外からの投資を促進するよう、計画の見直しが行われている。

当会としても、「うめきた」開発を関西経済の浮沈にかかわる重要

プロジェクトととらえており、4月11日には、ナレッジキャピタルへの理解促進を目的に、ナレッジキャピタルの企画・運営を担う(株)ナレッジ・キャピタル・マネジメントの間瀬豊社長らを迎え、会員企業向けの説明会を開催した。

野村卓也総合プロデューサーからは、「多様な人が集い、楽しみながら、みんなでOMOSIROI(おもしろい)を育て、つくる」というナレッジキャピタルのコンセプトや施設についての具体的な説明が行われた。

説明会には、定員を上回る約120名の参加があり、ナレッジキャピタルに対する関心の高さがうかがえた。

このような活動とあわせて当会では今年3月、うめきたⅡ期開発に関して、「伸び行く街」をコンセプトに、段階的な開発とタウンマネジメントを軸とした開発のたたき台を発表した。ナレッジキャピタル(先行開発区域)の成功は、Ⅱ期開発につながるものである。大阪府・市や関係企業・団体など、関西が一丸となって開発に取り組めるよう、当会としても活動を進めていく。

(産業部 東憲司)

〈図2 ナレッジキャピタルの施設構成〉



### 「ナレッジキャピタル」に関するお問い合わせ

(株)ナレッジ・キャピタル・マネジメント  
 大阪市北区梅田1丁目12番29号  
 新阪急ビル9F  
 TEL: 06-6342-8976

※ナレッジサロン会員先行予約登録を受付中

詳細は、以下のホームページまで  
 URL: <http://www.kmo-jp.com>